

国語科単元構想シート

第2学年 組() 名() 授業者

単元名「どうぶつの『すごい』を伝えよう」 全9時間

教材名「ビーバーの大工事」(東京書籍2年下)

単元目標 (単元で育成を目指す 資質・能力)	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 【知識及び技能】(2)ア
	◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】C(1)ウ
◎…指導の重点	○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア)	「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 (C(1)ウ)	進んで文章の中から伝えたい語や文を選び、学習の見通しをもって自分の好きな動物について調べ、お家の人に紹介しようとしている。

単元で取り上げる言語活動
自分の好きな動物について調べ、文章の中から自分が伝えたいと思う語や文を選び出し、分かったことなどをお家の人に伝える。

単元の流れ	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		指導の手立て	
★「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時間	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		「個別最適な学び」【個】・「協働的な学び」【協】	
①学習のゴールを共有し、学習の見通しをもつ。 ②教材文の内容の大体を捉える。 ③④教材文の中から、ビーバーの「すごい」と思ったところを見つける。 ⑤教材文の中から見つけたビーバーの「すごい」ところについて友達に伝える。 ⑥⑦並行読書材の中から、自分の好きな動物の「すごい」と思ったところを見つける。 ⑧自分の好きな動物の「すごい」と思ったところについて紹介し合い、伝えたいことを明確にする。★ ⑨自分の好きな動物について調べたことをお家の人に伝え、学習を振り返る。	A 主に文章や図、グラフから読み解き理解する力	B 主に他者とのやりとりから読み解き理解する力		
			必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】	友達と交流することを通して、友だちが着目した動物の「すごい」について理解している。
			情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】	動物の「すごい」について、自分が選んだところを友達に伝えている。
	自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】	自分と他者とのやりとりを通して、「すごい」を伝えるための重要な語や文を明確にしている。	・できるだけ児童がたくさんの本に触れられるように、学校図書と連携を取る。【個】 ・本単元に入る前に、動物の生態についての内容が掲載された本を人数以上に用意しておく。【個】 ・事前に児童の興味・関心に合った内容を調査しておき、誰がどんな本を読んでいるのか確認できるように並行読書マトリックス表を作成する。【個】 ・誰がどの本を選んでいるのか、どの本を読んだのかを一覧にまとめ(並行読書マトリックス表)、児童が目的に応じて交流する相手を選べるようにする。【協】 ・児童の興味・関心に合わせて、様々な動物の「すごい」が見つけられるように本を準備するが、相手に伝えて分かる動物(動物園にいる動物)に限定することで、交流が活発にできるようにする。【協】 ・文章中から重要な語や文を選べるように、指導者がモデルを示し、児童が見通しをもって学習課題に取り組めるようにする。【個】 ・自分の説明の仕方が相手に伝わるかどうか確認し、修正できるようにタブレット端末の動画撮影機能を活用できるようにする。【個】【協】 ・具体的な写真等を使って説明ができるように、タブレットの写真撮影機能を活用し、必要な説明ができるようにする。また、振り返りができるようにする。【個】 ・自分の興味・関心に合わせ、複数の動物の「すごい」を見つけ、付箋を活用し、その中から一番伝えたいことを整理して伝えることができるようにする。【個】 ・教材文「ビーバーの大工事」の文章を拡大した紙を基に、付箋で児童の伝えたいことを貼り出し、伝えたいことをはっきりさせることで、友達にどう伝えればよいのか練習し、その後の自分の好きな動物の「すごい」が伝えられるように、単元の流れを設定する。【個・協】	